

ふれあい

令和5年3月

弥生、春を迎えるこの季節は草木が生い茂る時期となりました。穏やかな陽気と共に、花々が咲き誇り、晴れやかな気持ちになりますね。半面この季節は、花粉症やアレルギーにお困りの方には、大変つらい時期でもあります。当院では、地域の皆様のお困りごとに寄り添えるような、医療サービスをご提供していきたいと思っております。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

スギ花粉症と 5月から始める治療のお話

各地で春の話題が聞かれるようになると…、今年もやってきました“花粉症の季節”。

『花粉症』とは、植物の花粉が体内に入ることによって引き起こされる一種のアレルギー反応です。くしゃみ・鼻水・鼻づまり、目の痒みなどの症状で、睡眠や仕事などの日常生活に支障を来します。

花粉症を引き起こす植物がいくつか知られていますが、海外、特にヨーロッパではイネ科の牧草やシラカバなど、アメリカ・カナダではブタクサやハンノキなどが知られています。日本では代表的なものとしてスギがあげられます。“スギ花粉症”は、ほぼ日本でしか見られない花粉症です。

日本における“スギ花粉症”が認知されるようになったのは比較的最近ですが、疫学調査等で患者数が年々増えており、社会問題化しています。最近では都会で働くオフィスワーカーの二人に一人は“スギ花粉症”症状に悩まされているというデータも示されています。

スギ花粉のもととなる雄花は7月ごろに出始め、秋には成熟して花粉を形成し、冬の低温期が過ぎた後、気温が高くなる2月末から3月に大量の花粉を放出します。これに伴いアレルギーのある患者さんに症状が出現します。くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目の痒みといったつらい症状が花粉の飛散が収まる5月半ば頃まで続きます。とりあえずこれらの症状を少しでも和らげるため、『抗アレルギー剤（第2世代抗ヒスタミン剤）』やアレルギー反応を抑える『ステロイド剤』を使うことになります。しかしこれらは対症療法（症状を抑える治療）なので、根本治療とはなりません。また来年花粉が飛ぶ時期には同じような症状が出てしまいます。

ゼッカ

現在日本でできる根本治療の一つに、『舌下免疫療法』というものがあります。これはスギの花粉の抽出物を希釈したものを投与し続けることによって耐性免疫を獲得し、アレルギー症状を緩和しようという治療法です。**スギ花粉が飛ばなくなった時期（5月以降）から舌下投与を始めて**、3年から5年投与続けることになります。毎年花粉に時期に重い症状でつらい日々を送っているような患者さん、くしゃみ・鼻水・鼻づまりとサヨナラしたいという方は一度ご相談ください。

検査・診断

初回投与
少量から服用

3～5年の継続投与（定期受診）
お薬を少しずつ増量

Q 舌下免疫療法とは？

A 体内に毎日少しずつスギ花粉エキスを取り込んで体を慣れさせ、体質を改善させる治療です。初回以外は自宅で行います。

Q いつ始めるの？

A 花粉の飛散時期にはアレルギーに対する反応が過敏になっており、治療を開始するには適していないため花粉が飛んでいない5月以降に治療を開始します。

Q デメリットは？

A 副作用（アレルギー反応）が出る場合があります。また、治療が長きに渡るため根気強さが必要となります。

担当:呼吸器内科 武井達夫医師 診察日:水曜日午後